

RIMS 研究集会

独立性と従属性の数理

— 函数解析学の視点から —

京都大学数理解析研究所の共同研究事業の一つとして、下記のように
研究集会を催しますので、ご案内申し上げます。 研究代表者 村木尚文
(岩手県立大学 総合政策学部)

記

日時: 2010 年 12 月 20 日 (月) 13:30 から 12 月 22 日 (水) 17:00
まで

場所: 京都大学数理解析研究所 111 号室
京都市左京区北白川追分町
市バス京大農学部前下車

プログラム

12 月 20 日 (月)

- 13:30 – 13:50 村木尚文 (岩手県立大・総合政策)
非可換確率空間に対する積演算と独立性概念
- 13:50 – 14:20 尾畑伸明 (東北大・情報科学)
Non-commutative independence and structure of graphs
- 14:20 – 15:10 Claus Köstler (Aberystwyth University)
Distributional symmetries in noncommutative probability
- 15:25 – 15:55 西郷甲矢人 (京都大・数理研)
On a generalized notion of cumulants
- 15:55 – 16:25 柳研二郎・田中義晃 (山口大・理工)
Wigner-Yanase-Dyson skew information の一般化と
関連する trace 不等式について
- 16:25 – 16:55 高阪史明 (大分大・工)
堅非拡大写像の一般化に対する不動点定理について

12 月 21 日 (火)

- 9:30 – 10:00 成川康男 (桐朋学園、東工大)
菅野積分に関する最近の話題
- 10:00 – 10:30 町田元也 (Tennessee Technological University)
Capacities on finite lattices

- 10:45 – 11:15 河邊淳（信州大・工）
共単調加法的非線形汎関数のショケ積分表示
- 11:15 – 11:45 小田弘良・塚田真（東邦大・理）
ブラインド等化と独立成分分析
- 13:30 – 14:00 長谷部高広（京都大・数理研）
独立性の視点から見たレヴィ過程とその確率分布
- 14:00 – 14:50 小嶋泉（京都大・数理研）
Independence, coupling and dependence from the viewpoint of
Micro-Macro duality
- 15:05 – 15:35 Un Cig Ji（Chungbuk National University）
Quantum White Noise Derivatives and Normal-Ordered Forms
- 15:35 – 16:05 Jaeseong Heo（Hanyang University）
Quantum stochastic processes associated with certain class of
module maps
- 16:05 – 16:35 水口洋康（新潟大・自然科学）・斎藤吉助（新潟大・理）
バナッハ空間の Zbaganu 定数について

12 月 22 日 (水)

- 9:30 – 9:50 古市茂（日本大・文理）
トレース不等式とその応用
- 9:50 – 10:10 古市茂（日本大・文理）・日野英逸（早稲田大・理工）
ペロン-フロベニウスの定理と重み付き関数に基づいたランキング法
— 2010 FIFA World Cup を例に
- 10:10 – 10:40 吉田裕亮（お茶の水女大・人間文化創成）
q-Fock 空間上の q-Meixner 型自己共役作用素
- 10:55 – 11:45 Hun Hee Lee（Chungbuk National University）
Free probability and operator spaces
- 13:30 – 14:00 宮本拓歩（東北大・情報科学）
相互情報量の漸近的な表現について
- 14:00 – 14:50 長田まりゑ（大阪教育大名誉教授）
Entropy via partitions of unity
- 15:05 – 15:35 木村泰紀（東京工業大・情報理工）
収縮射影法における作用素と射影の独立性
- 15:35 – 16:05 青山耕治（千葉大・法経）
擬非拡大写像列の共通不動点問題に関する収束定理
- 16:05 – 16:35 茨木貴徳（名大・情報連携統括）
バナッハ空間における準非拡大写像に関する不動点定理